



みかんの  
みっちゃん農園





みかんのみつちゃん農園  
6代目園主 小澤光範



# もくじ

## 1. みかんのみっちゃん農園のご説明

- a. 実績と経験（SNS・クラファン・コラボ）
- b. 取り組み中の事業（冷凍・加工・輸出・採用強化）

## 2. 輸出事業紹介

- a. 輸出の背景
- b. 1年目・2年目・3年目の推移
- c. 気づき

## 3. 将来的な発展

# 1

## みかんのみっちゃん農園のご説明







有田川町

## 生産状況

年間生産量

柑橘類60種類

180t

## SNS

Instagram

 1.9万

Facebook

 6,000

X(旧Twitter)

 3,500

LINE

 1000

# みかんで世界をもっと面白く

みかんで世界を変えてやる。

有田みかんを食べて、世界中の人々が自然と笑顔になり、  
幸せの輪が広まるような、おいしいみかんを毎年お届けします。

それだけではなく、  
これまでのみかん農家とは一味違うことに果敢に挑戦していきたい。

みかんをもっと面白くする。  
農業の可能性を私たちが世界に示していきます。





# “みかん”でつながるコミュニティ 「It's a small world」を創る

「It's a small world」とは  
みかんを中心に人々が繋がり、コミュニティとなる世界。  
いわばみかん経済圏と言えます。

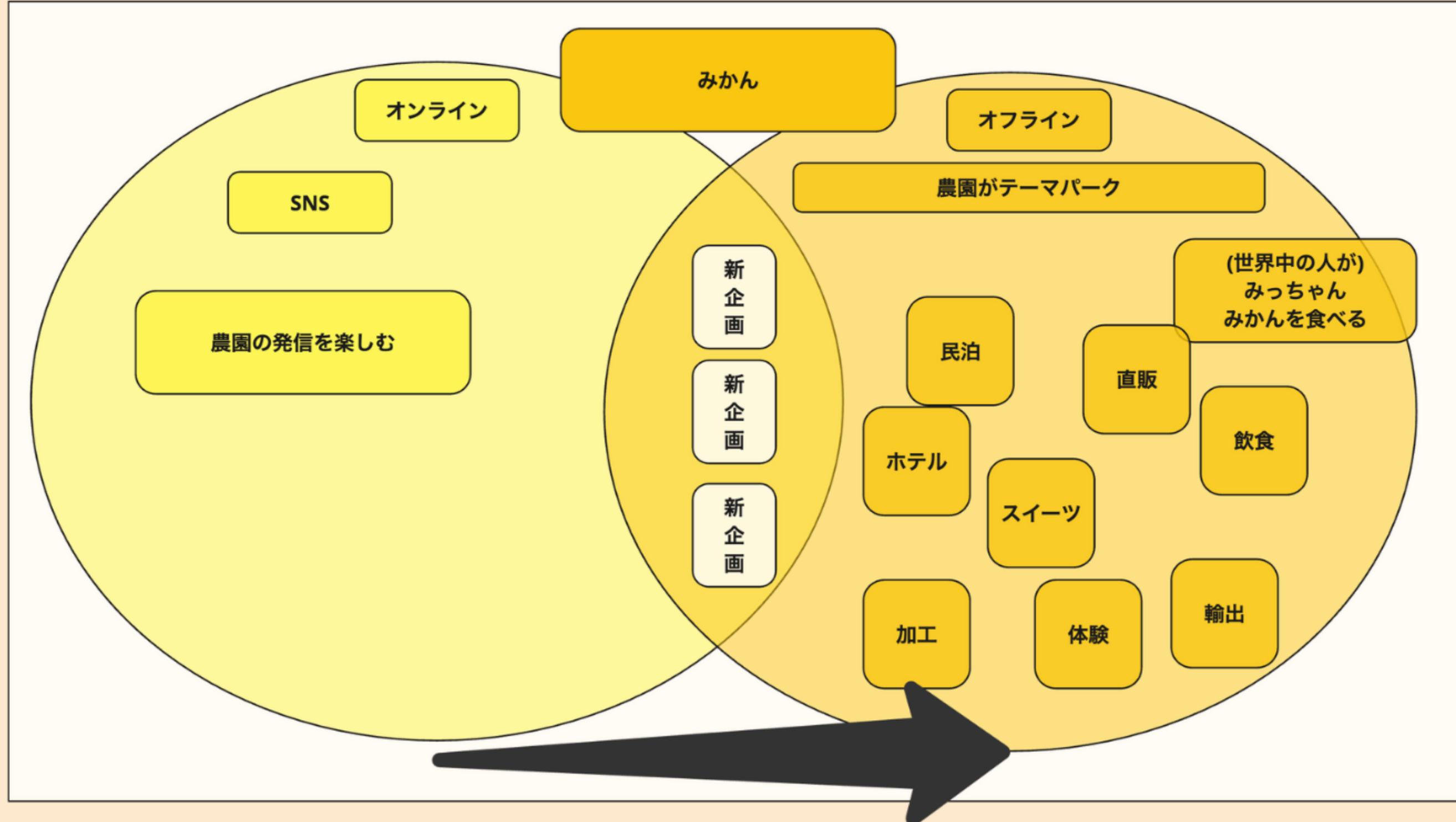
私たちのみかんに出会っていただいたご縁から  
おいしい笑顔の輪はもちろんのこと  
農園で一緒に汗をかいたり、  
みかん好き同士が繋がったり、  
新しいサービスが生まれたり...

みかんのみっちゃん農園は  
「みかん」を通して五感で味わう  
エンターテインメントを提供し  
つながりを創っていきます。





# 「It's a small world」 構想





## VALUE

私たちが常に大切にしている価値観、共通認識として4つの行動価値観を志しています。  
これらは、ビジョンを達成するために必要な要素として私たちチームの姿勢に繋がっています。

### 笑顔

関わる人の笑顔を考え、私たちは作業をします。  
みかんで繋がるご縁から届く人の笑顔へと還元します。

### 感謝

ひとつのみかんにも感謝をもって作業をします。  
お客様にもその気持ちが伝わりますように。

### 幸せ

農園のメンバーが幸せで健康であるように。  
メンバー同士互いに思いやる気持ちを忘れません。

### 未来

普通の農家では終わらない。  
私たちはみかんの未来を創り、伝統を和歌山に残します。



# 🍊メディア出演30回以上。合計100回のコラボ商品を製作



「タダで野菜果物をゲット。  
ただならぬワケを調査」  
全国テレビのあさちゃん



「みかんの妖精？」  
全国放送 珍百景  
テレビ朝日にて



「農業経済新聞」  
SNSでつなぐミカンの輪  
一面掲載



愛知  
LOOP&loop



大阪豊中  
ローフベーカリー



全国高級生食パン  
乃が美



兵庫  
テタンレール



香港・シンガポール  
不知火を輸出  
シャトレーゼ



# 🍊若手生産者と持続可能な雇用機会の創出に挑戦

ドローンで防除作業を効率化





# 🍊 SNSを活用し援農者の集客と醸成を定期実施

就農から3年で

累計援農者100人・直販購入者10,000人を突破

生産工程や魅力を発信



直接購入するコアファン



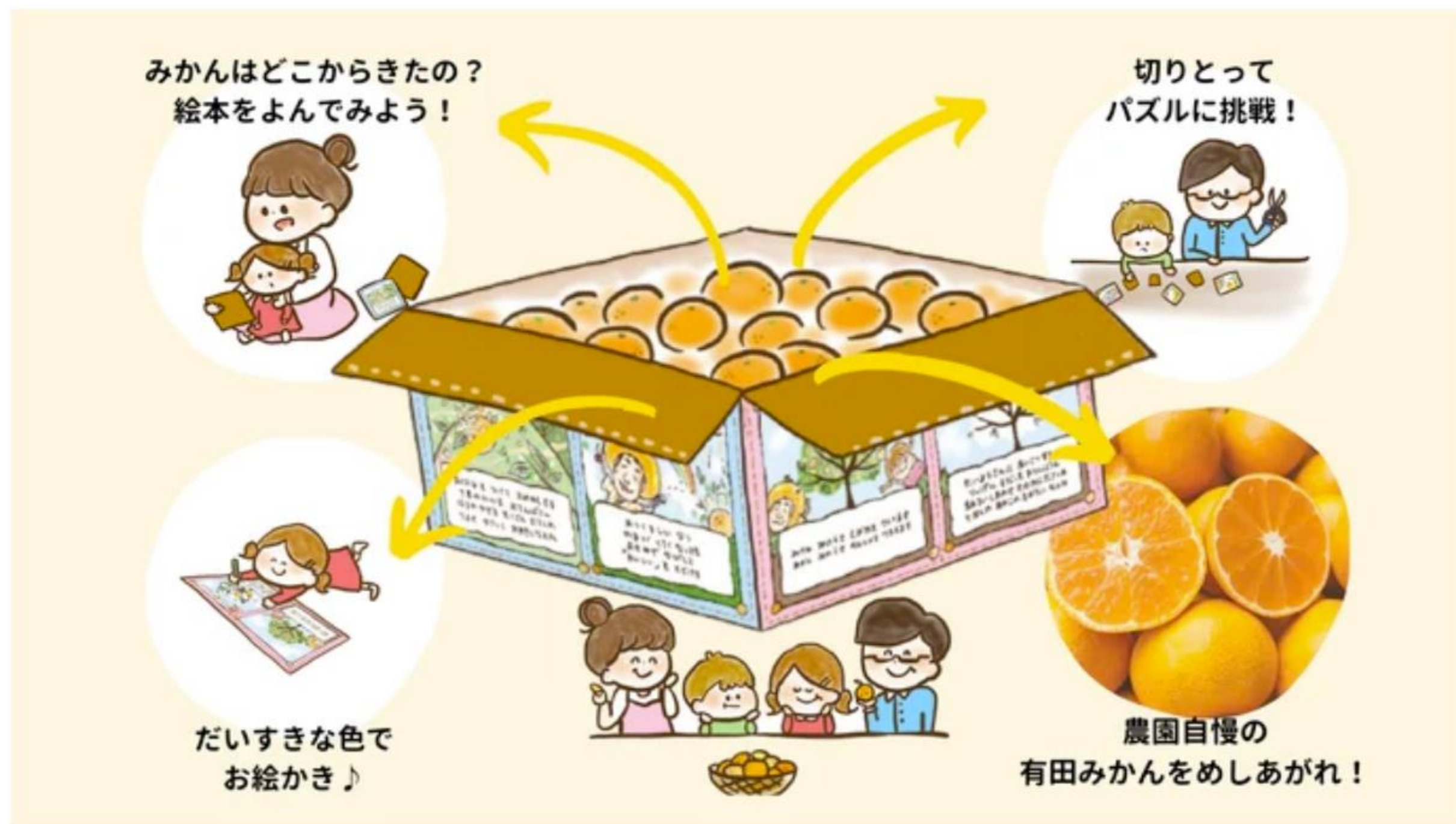
援農者の醸成





# 🍊 SNSパワーを活用しクラファンにも挑戦

みかん箱を「SDGsな食育グッズ」として再利用しみかん絵本箱を作成





# 🍊 SNSパワーを活用しクラファンにも挑戦

達成率1876%。約375万円の購入金額を達成。



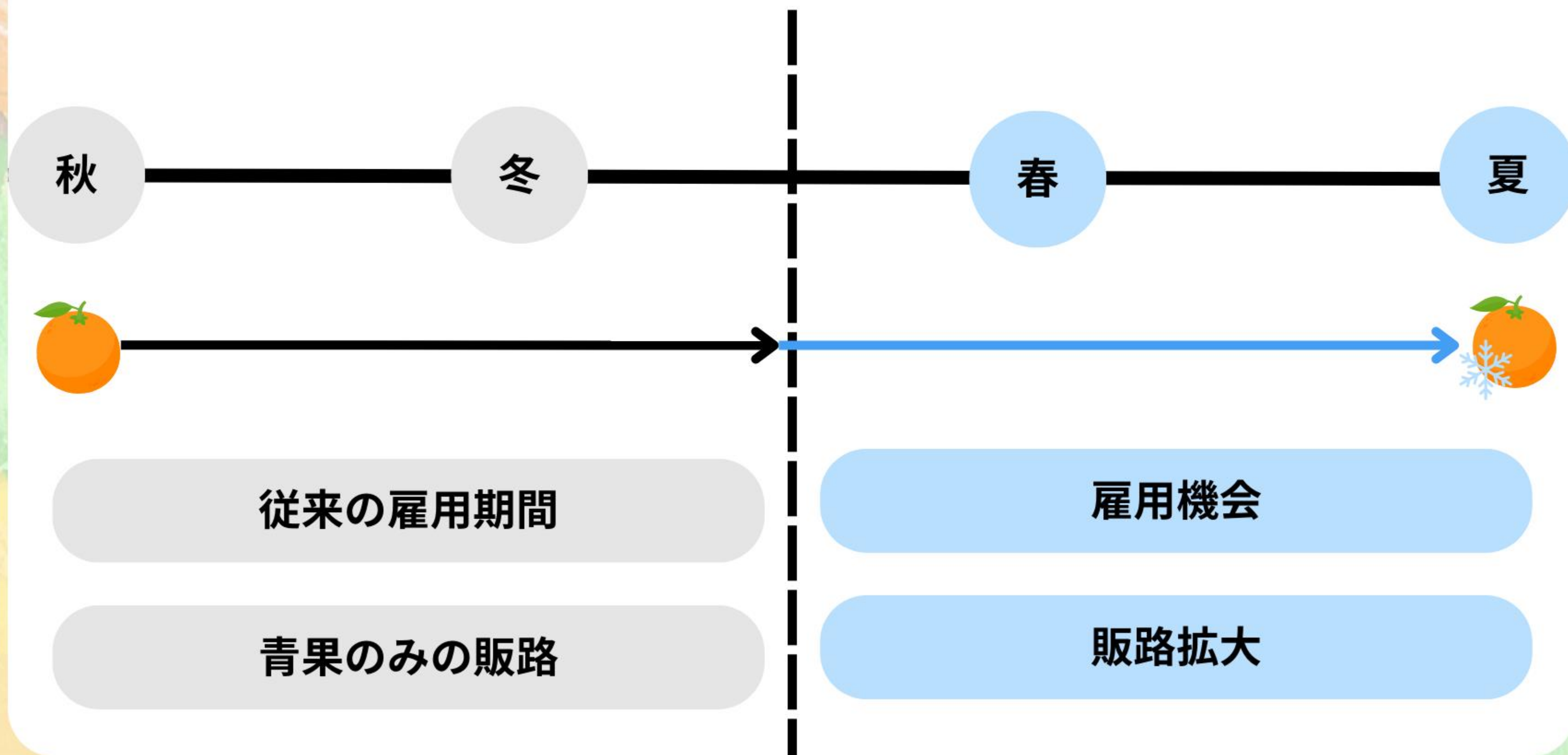
クラウドファンディング1876%  
約375万円の購入金額を達成。



NHK和歌山で特集  
月刊農林リサーチ掲載

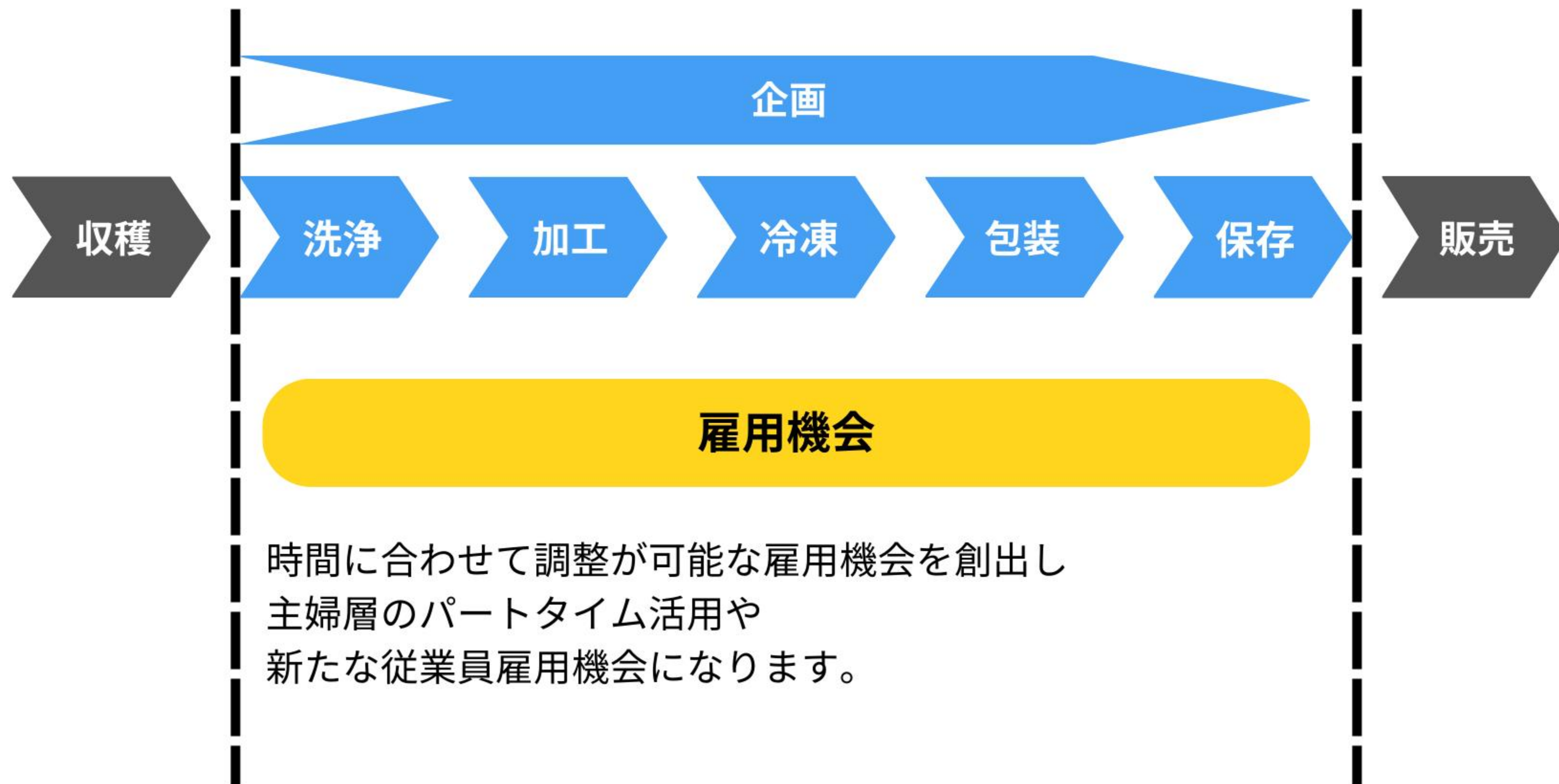


# 🍊今年度から冷凍みかん事業にも挑戦中





## 🍊今年度から冷凍みかん事業にも挑戦中



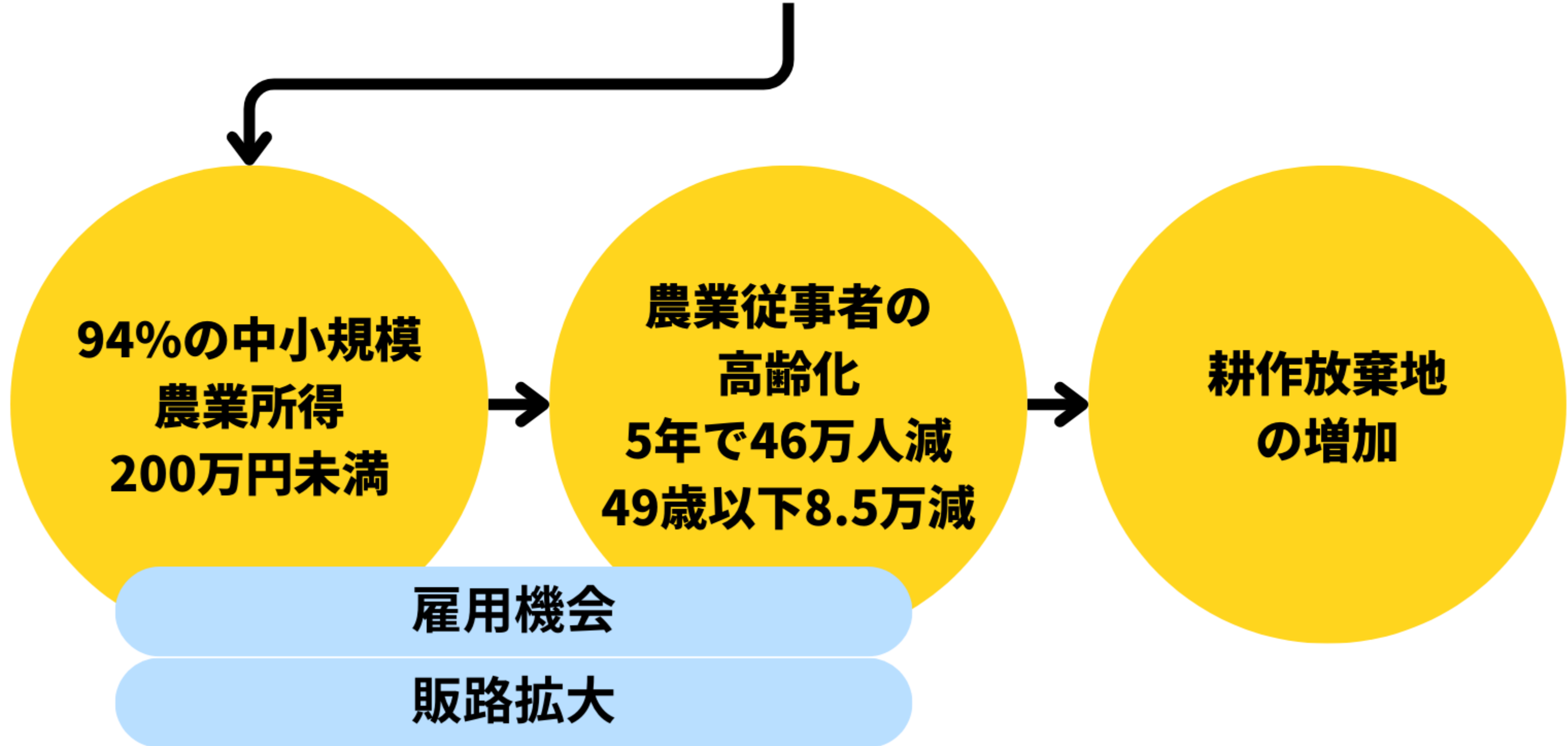


## ただ売るだけでは難しい時代





# 未来につながる変革を 和歌山の農業から産み出す





🍊 みかん×クリエイティブで新しい価値を生み出す



×



=

適性生産  
販売単価UP  
付加価値

クリエイティブ  
能力

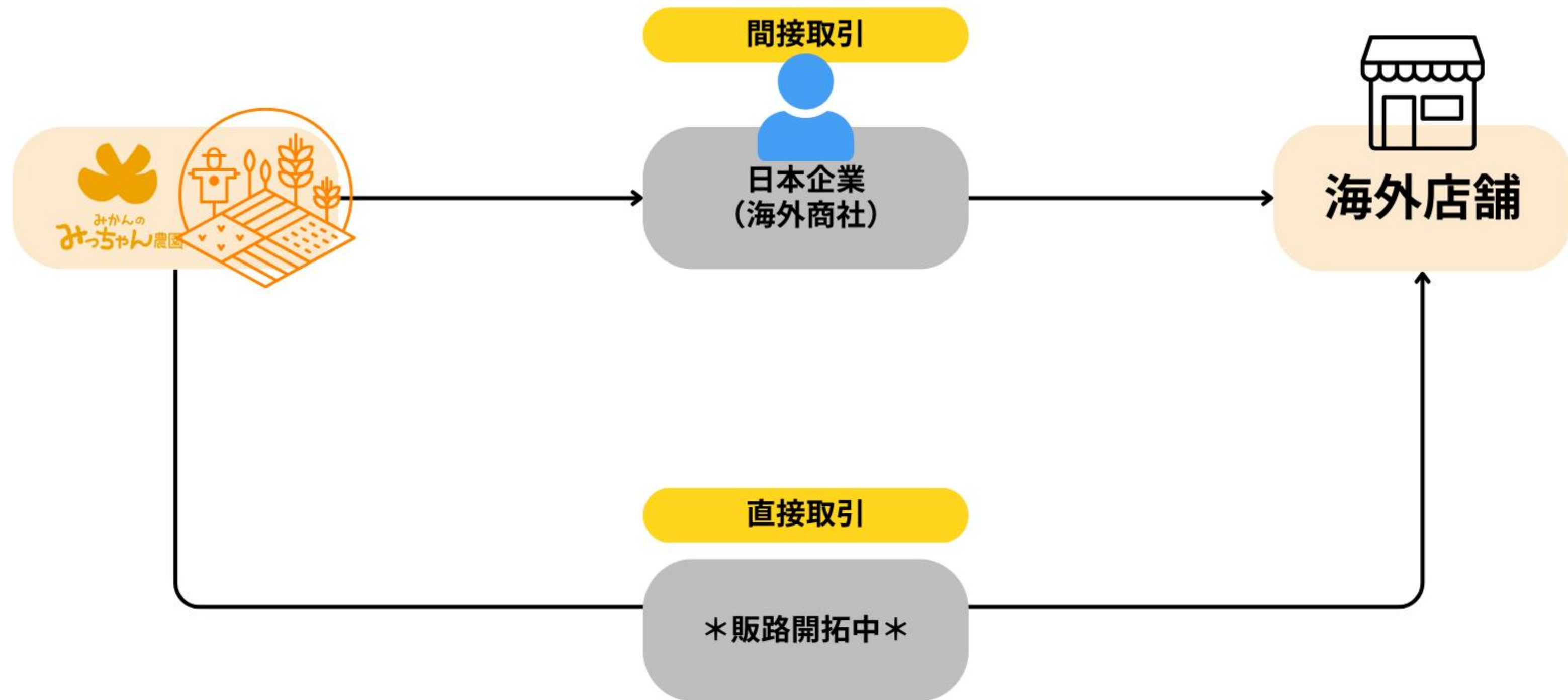


# 2

## 輸出事業紹介



# 🍊現状の輸出モデル





# 輸出に挑戦した経緯



## 輸出挑戦への背景

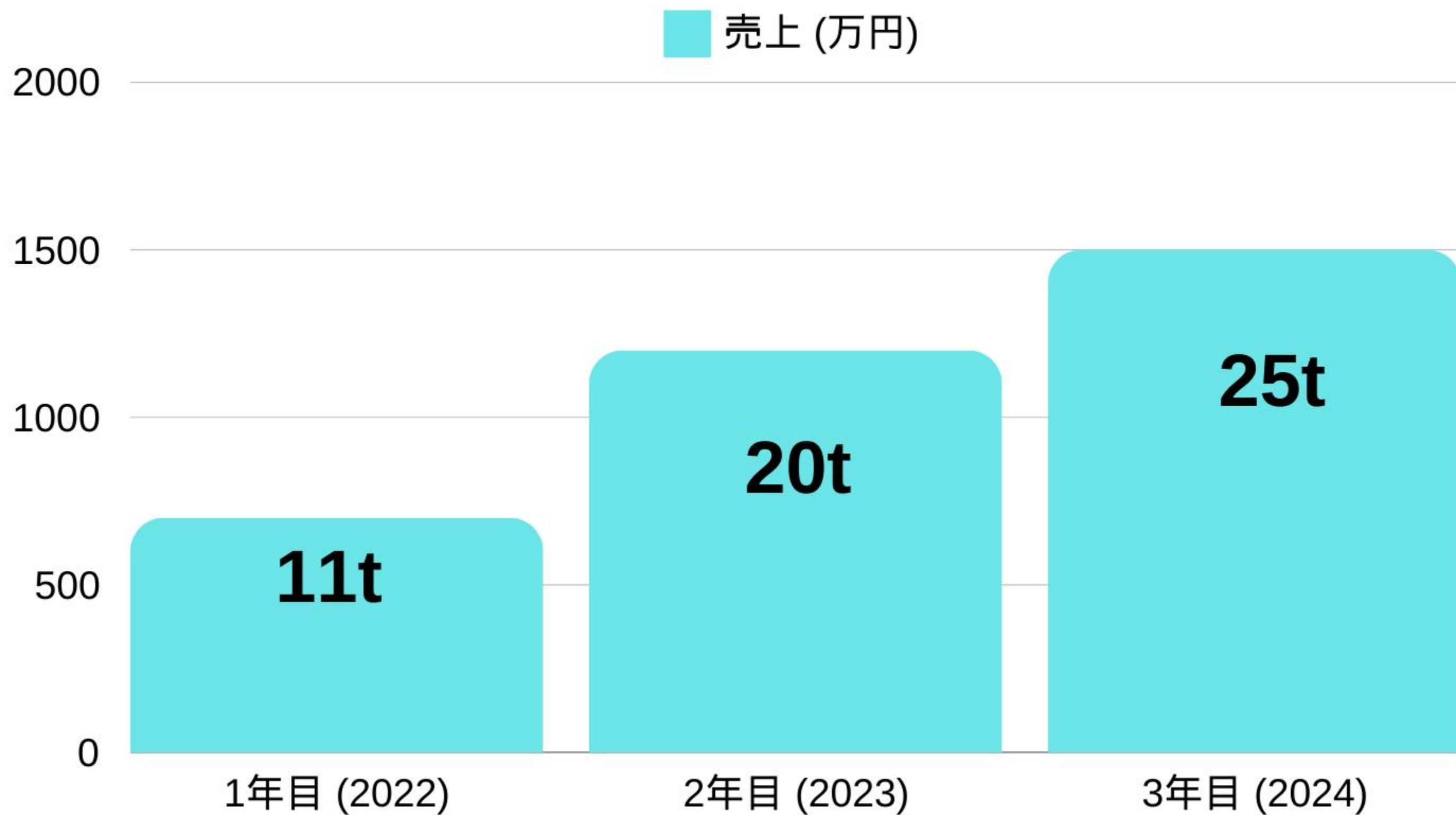
- インバウンド観光農園にも繋がる輸出を行いたい。
- 「輸出をしたい」と発信
- 知り合いに輸出を手掛けるアグベルさんと繋がる
- 展示会、和歌山県の販促企画で輸出アピール
- アグベルさんと農水省イベント企画で登壇し、ビジョンを語る
- イベントに参加していたシャトレーゼさんの目に止まり打ち合わせする
- 実現可能な範囲から輸出スタート
- 現在、5社（日本企業・海外商社・支社）・7カ国とお取引



# 1年目・2年目・3年目の推移 (売上/輸出量)



## 🍊 1年目・2年目・3年目の推移





気づき



## 🍊輸出を経験しての気づき

- 海外に販路を拡大することで、農家としての視野が広がった
- 海外基準の厳格さ
  - 選果機・腐敗抑制機器の導入を決定
  - 海外基準（GAP/HACCP）になることで自社ブランド力も向上する
  - 農作物保管環境への見方が変わった（農家→食品製造者へ）
- 発信することの大事さ
  - 「輸出」と接点がある企業や場に積極的に接触する
  - 結果、動き出しから1年以内に輸出先が決定

# 3

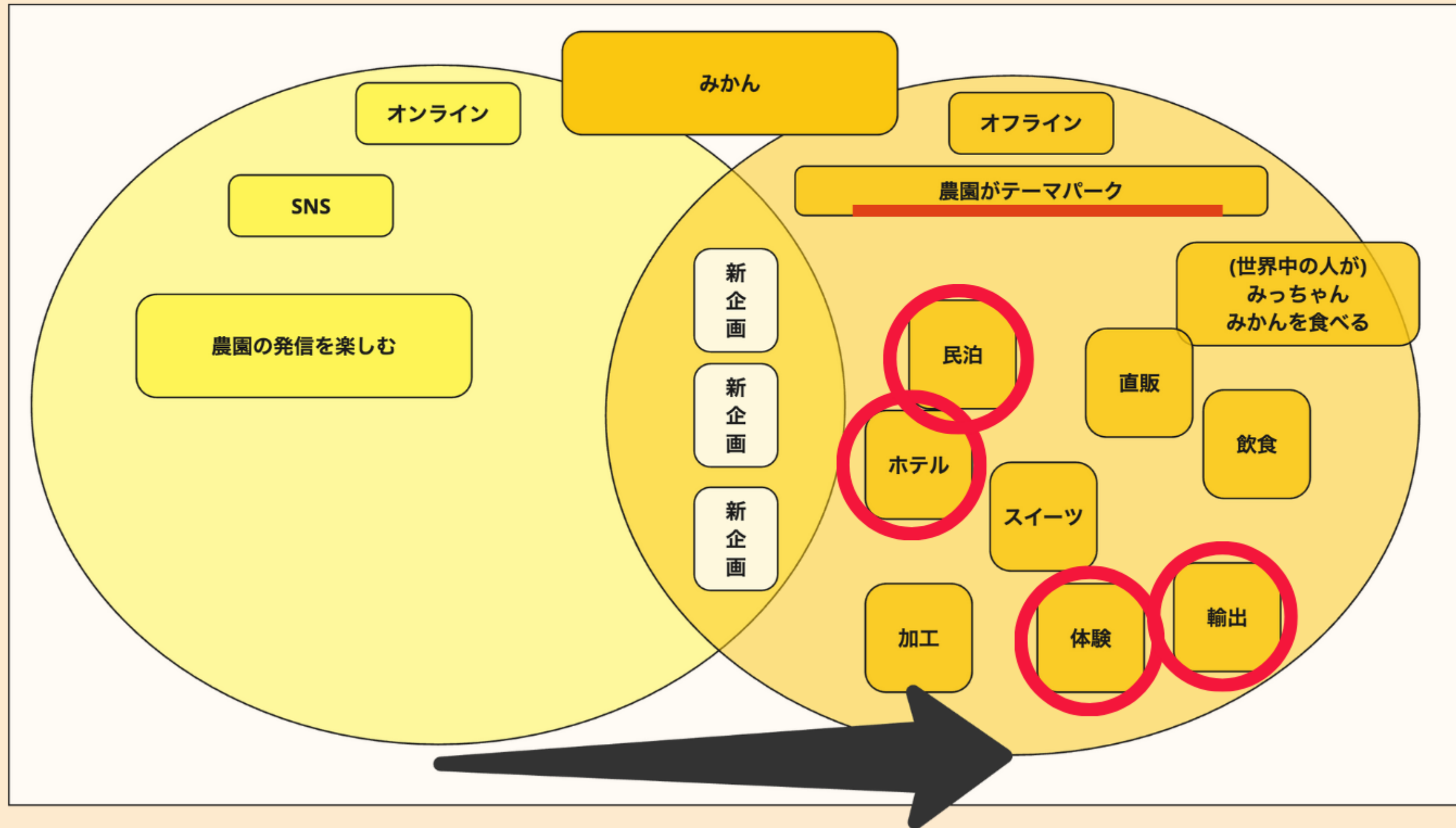
## 将来的な発展イメージ



## 将来的な発展イメージ

- 自社スイーツ店舗の進出
- 和歌山県観光向けインバウンド商品の開発
- オーバーツーリズムの解消
- 食、加工体験（収穫～加工～レシピ考案）

# 「It's a small world」 構想





# 輸出した「みかん」を和歌山に訪れる機会に！







# みかんのみっちゃん 農園の想い、





ご清聴ありがとうございました。